イベント開催等における必要な感染防止策　①

項　　目	基本的な感染対策
①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底	□飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、大声を出さないこと（「大声あり」のイベントの場合を除く。）や適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用やを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。 ＊大声を「観客等が、㋐通常よりも大きな声量で、㋑反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を施さないイベントは「大声あり」に該当することとする。 ＊大声を伴う可能性のあるため収容率を50％とする場合でも、常に大声を出すことは飛沫防止の観点から望ましいものではないため、対策を徹底すること。 ＊飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量のＢＧＭや応援なども含む。 ＊マスクの着用については、厚生労働省ＨＰ「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。なお、屋外において他者との距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。
②手洗、手指・施設消毒の徹底	□こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）。 □主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施
③換気の徹底	□法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（１時間に２回以上・１回に５分間以上）の徹底 ＊室温が下がらない範囲での常時窓開けも可。 ＊屋外開催は上記と同程度の換気効果と想定。 ＊必要に応じて、湿度40%以上を目安に加湿も検討。

イベント開催等における必要な感染防止策　②

項　　目	基本的な感染対策
④来場者間の密集回避	□入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施 □休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や導線確保等の体制構築 ＊入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じて収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保する。 □大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保 ＊「大声あり」の場合、座席間は１席（立席の場合できるだけ２ｍ、最低１ｍ）空けること
⑤飲食の制限	□飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底 □食事中以外のマスク着用の推奨 □長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛 ＊発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保やマスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。 □自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）

イベント開催等における必要な感染防止策　③

項　　目	基本的な感染対策
⑥出演者等の感染対策	□有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常からの出演者（演者・選手等）の健康管理を徹底する。 ＊体調が悪いときは医療機関等に適切に相談 □練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 ＊練習時等であっても、適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフ等の関係者間の適切な距離確保、換気、必要に応じた検査等の対策が必要 □出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）。
⑦参加者の把握・管理等	□チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握 ＊接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知サービス（BluetoothやQRコードを用いたもの等）を活用 ＊原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底 □入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止 ＊チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること □時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

※上記に加え、県からの要請や各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること

イベント開催にあたっての留意事項

○「大声」について

	内　　容
大声あり	【大声とは】 観客が、㋐通常よりも大きな声量で、㋑反復・継続的に声を発すること これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当する。 〈大声の具体例〉 ・観客間の大声・長時間の会話　・スポーツイベントにおいて、反復・継続的に行われる応援歌の合唱 ※得点時の一時的な歓声等は必ずしも当たらない。
大声なし	上記以外

○収容定員が設定されていない場合の収容率について

	内　　容
大声あり	十分な人と人との間隔（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）を確保すること ※上記間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断すること
大声なし	人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保すること

○飲食を伴う又は飲食が可能であるイベントについて

感染者が飲食した場合の周辺への感染リスクを高める可能性があることから、**飲食専用エリア以外（観客席など）においては自粛**を求めること

※ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。

イベント開催制限の方針について

【イベント開催制限等の要請内容】

○　すべてのイベントにおいて「イベント開催時における必要な感染防止策」を徹底するとともに、イベントごとに「チェックリスト」または「感染防止安全計画」を作成すること

○　参加人数は、人数上限と収容率のいずれか小さい方を限度とする。

		現在（平常時）	まん延防止等重点措置	緊急事態措置
開催時間		原則要請なし	原則要請なし	原則要請なし
人数上限	チェックリスト作成	5,000人又は収容定員50％のいずれか大きい方	5,000人	5,000人
	安全計画実施	収容定員まで	収容定員まで	10,000人
	安全計画及び全員検査実施	－	－	収容定員まで ※感染状況によっては全員検査の活用を行わない場合もある。
収容率	チェックリスト作成	【大声なし】100％ 【大声あり】　50％	【大声なし】100％ 【大声あり】　50％	【大声なし】100％ 【大声あり】　50％
	安全計画実施	100％ ※「大声なし」の担保が前提	100％ ※「大声なし」の担保が前提	100％ ※「大声なし」の担保が前提

※　「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」を大声と定義する。

感染防止安全計画の策定を要するイベント

感染防止安全計画（以下「計画」）策定は「大声なし」が前提。

※「大声あり」のイベントは従来通りの制限で「チェックリスト」を作成、公表し開催。

その他区域（平常時）

5,000人超かつ収容率50％超 のイベントは計画策定が必要

参加人数が**事前に把握できない**場合

・・・イベント主催者が想定する参加予定人数が5,000人を超えるか否かにより判断

収容**定員の設定がない**場合

・・・十分な人と人との間隔（できるだけ２ｍ、最低１ｍ）が確保できるかどうかにより判断

〇確保できる：収容率50%以下として扱う　×確保できない：収容率50%超として扱う

大声**なし**	十分な人と人との間隔	
	確保できる	確保できない
5000人超	チェックリスト	**計画策定**
5000人以下	チェックリスト	チェックリスト

大声**あり**	十分な人と人との間隔	
	確保できる	確保できない
5000人超	チェックリスト	開催について慎重に判断
5000人以下	チェックリスト	

※十分な人と人との間隔が確保できない場合でも、人と人とが触れ合わない程度の間隔を維持できる対策が必要。その上で、チェックリストを作成、公表

まん延防止等重点措置区域 / 緊急事態措置区域

5,000人超 のイベントは計画策定が必要

大声とは：観客が、「通常よりも大きな声量で」、「反復・継続的に」声を発すること